



# 文化財のわたしのまちの

## 刀杼のはなし

富田林が生んだ歌人、石上露子の生家であり、国の重要文化財に指定されている旧杉山家住宅には、昔使われていた、さまざまな生活道具が残されていました。下の写真の不思議な形をした物もその一つです。何でしょ。これは河内木綿を織るときに使われた道具の一つで、刀杼といふ物です。織物を織るときに絹糸に緯糸を通すための道具を杼といい、河内木綿を織るときには刀杼と呼ばれる杼が使われていました。

江戸時代、河内地方は綿の栽培が盛んでした。収穫した実綿を種と繰り綿に分け、繰り綿から糸を紡いで木綿を織つていました。こうして紡られた木綿は丈夫で、河内木綿として知られていました。

江戸時代に書かれた『綿圃要務』という書物には、糸車を回して糸を紡ぐおじいさんの絵が描かれており、大和・河内・和泉が



では、女性だけでなく男性も糸を紡いでいたことが分かります。男性が紡いだ糸は太く、その糸から織つた木綿は丈夫で、女性が紡いだ糸は細口の上木綿で大変美しい、と記されています。

さて、左上の写真では見えにくいのですが、3点の刀杼にはそれぞれ墨書き見えます。

上の刀杼には「大極上惣角入／松山長左衛門」の文字が見え、刀杼の各所に象牙か動物の角らしきものが使われていることが分かります。

真ん中の刀杼には「大極上也／廿五銭／式銭引也」の文字が見え、刀杼の価格が記録されています。

下の刀杼には「文化三年二月求之／松山」の文字が見え、江戸時代の文化3年(1806年)石上露子の曾祖母みねが生まれた翌年に購入された物と分かります。

よく見ると、刀杼には無数の線が規則正しく並んでいます。

これは絹糸の跡でしょう。緯糸を通すたびに刀杼で打ち込むため、一反の布を織り上げるには、刀杼は数えきれないほど何度も絹糸の上を往復します。この刀杼も糸の跡が付くほどたくさんの方の河内木綿を織り上げたのでしょうか。

これらの刀杼は、11月に寺内町センターで展示を予定していますので、皆さんぜひご覧ください。

文化財課(内線507)

## 富田林生活

# とんかつ

## 富田林生活「とんかつ」でシティセールス「子育てするなら富田林」をアピール

### ■妊娠されたお母さんにお祝い品をプレゼント

本市では、妊娠時から出産までの経済的負担を少しでも軽減し、安心して子どもを生み育てることができる環境をつくるため、本市で妊娠の届け出をされた人に、マタニティ用品やベビー用品などが選べるカタログギフト、オーガニックタオルセット、大阪エコ農産物に指定されている地元産のお米をお祝い品としてお贈りする「プレママ・ハッピーライフサポート事業」を実施しています。



### ■昨年度は739人にプレゼント

プレゼントの際にお願いしたアンケートでは、98.8%の人から、「これは妊娠・出産の応援になる」という評価をいただきました。アンケートを通じて、ご家族に

とって人生の節目となる妊娠・出産は、大きな喜びであると同時に、特にお母さんは大きな不安を抱えておられることを再認識しました。また、「安心して妊娠、出産、子育てをするために重要と思うものは」という問い合わせに対して、「妊娠や子育てへの助成・支援制度が充実していること」「保育園、幼稚園、学童保育が整っていること」「産婦人科や小児科、休日診療所などの医療機関が充実していること」「犯罪や災害が少なく安心して子育てができること」が挙げられています。

### ■子育てするなら富田林

本市では、妊娠健診費用の助成、産後ケア、育児ヘルパー、病児保育などのサポート制度があります。

また、気軽に子育て相談や仲間づくりができる「つどいの広場」や「子育て支援センター」、保育士が家庭訪問をする「ママサポとっぴーず」では、子育て相談やさまざまな情報提供などを実施するとともに、公立私立合わせて15の保育園、10の市立幼稚園、富田林病院の小児科、休日急病診療などで子育てをサポートしています。

これからも本市は、暮らしやすい富田林生活、略して「とんかつ」を合言葉に子育てを応援し、「子育てするなら富田林」をアピールしていきたいと考えています。

都市魅力創生課(内線424)